

水道施設における停電、土砂・浸水災害に対する対策状況等調査（令和元年実施）の結果について（詳細は別紙1参照）

全国の上水道事業及び水道用水供給事業（合計 1,368 事業）を対象に、重要度の高い水道施設*（合計 20,822 施設）の対策状況について調査を実施した結果は以下のとおりであった。

※ 病院等の重要給水施設に至るルート上にある水道施設（取・浄・配水場、ポンプ施設）

① 停電対策

ブラックアウト等の広域停電時において、1日平均給水量以上の給水が困難な施設総数は 6,818 施設（全体の 33%）となり、これら施設においては非常用発電設備の設置やバックアップの整備等、何らかの対策が必要な状況であった。

施設種別	全 体		停電時給水可能※1		停電時給水不可能※2	
	箇 所	割合	箇 所	割合	箇 所	割合
取水・導水施設	6,054	100%	3,023	50%	3,031	50%
浄水施設	3,989	100%	2,458	62%	1,531	38%
配水場	8,479	100%	7,717	91%	762	9%
ポンプ施設	2,300	100%	806	35%	1,494	65%
合 計	20,822	100%	14,004	67%	6,818	33%

※1 自然流下方式、非常用発電設備の運転、非常用発電設備を有する他施設からのバックアップ等により「1日平均給水量」以上の給水が可能な施設

※2 『非常用発電設備がない』あるいは『非常用発電設備があっても能力不足』、かつ、バックアップもないため「1日平均給水量」以上の給水が確保できない施設

② 土砂災害対策

土砂災害警戒区域に位置している 2,975 施設（全体の 14%）のうち、2,068 施設（全体の 10%）において、特段の対策が講じられていない状況であった。

施設種別	全 体		土砂災害警戒区域に 位置している			
	箇 所	割合	位置している		発災時給水不可能 [※]	
			箇 所	割合	箇 所	割合
取水・導水施設	6,054	100%	580	10%	387	6%
浄水施設	3,989	100%	657	16%	430	11%
配水場	8,479	100%	1,308	15%	915	11%
ポンプ施設	2,300	100%	430	19%	336	15%
合 計	20,822	100%	2,975	14%	2,068	10%

※ 土砂災害警戒区域内にあって土砂災害対策を実施しておらず、かつバックアップもないため「1日平均給水量」以上の給水が確保できない施設

③ 浸水災害対策

浸水想定区域内に位置している 3,310 施設（全体の 16%）のうち、2,076 施設（全体の 10%）において、特段の対策が講じられていない状況であった。

施設種別	全 体		浸水想定区域に 位置している			
	箇 所	割合	位置している		発災時給水不可能 [※]	
			箇 所	割合	箇 所	割合
取水・導水施設	6,054	100%	1,966	32%	1,248	21%
浄水施設	3,989	100%	965	24%	620	16%
配水場	8,479	100%	232	3%	117	1%
ポンプ施設	2,300	100%	147	6%	91	4%
合 計	20,822	100%	3,310	16%	2,076	10%

※ 浸水想定区域内にあって浸水災害対策を実施しておらず、かつバックアップもないため「1日平均給水量」以上の給水が確保できない施設